

本州太陽シートの効果確認試験

JAたきかわ

住友 圭



慣行区①



慣行区②



試験区①



試験区②

試験目的

本州太陽シートの効果確認試験

試験作物 及び品種

水稻

試験資材 及び数量(規格)

本州太陽シート(2700mm×50m) 2枚

慣行資材

シルバーポリトウ #90(2700mm×100m)

栽培方法

播種日	定植日
慣行区:4月24日 試験区:4月24日	慣行区:5月下旬 試験区:5月下旬

資材使用期間

4月24日～5月4日

試験区面積

300㎡

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
特に問題はなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行品と比較すると10日程生育が遅れた。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】: 苗が焼けないところ。
【問題点】: 天候次第で遅れが発生するところ。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について
1年目は問題無し。
- (5)促成・抑制効果について
抑制効果がある。
- (6)保温効果について
試験品は地温を保つ効果があると思うが、地温が低ければ生育が遅れる。
- (7)雑草・病害虫の発生について
変化無し。

モニター感想

試験区は慣行区と比べると温度が平均して低く、1週間以上生育が遅れた。
ハウス内で影になっていた部分は地温が上がりにくいせいか試験区の中でも遅れた。
5月上旬晴れの日には地温を上げるため試験品を剥がし、再度掛けたら生育が進んだ。
次年度は今年の経験を生かして使用したい。

JA担当者の感想(資材課 鷲尾 氏)

最初は低温の影響で生育が遅れるということもあり、不安な面が多いのかと思いましたが、生産者からは良い結果を聞くことができました。今後は推進品目として検討していきたいと思います。

今後の使用について

継続して使用したい。

- 1 高温対策
- 2 青虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 育苗シート
- 5 クリーンシート
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他